

下水道機構の『新技術情報』 第46号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇-----◇  
普段なら月曜の朝は、慌ただしいものですが、今朝は少し様子が違いました。みなさん  
はご覧になりましたか？「金環日食」を！こちらの天気予報は「曇」だったのですが、ち  
ょうどその時間は晴れ間が差したかと思うと、徐々に夕方のように薄暗くなっていきまし  
た。いつもは通勤時間帯でせわしない駅前も、日食グラスを片手に空を見上げる人が大勢  
いて、なんだか時間がストップしたかのような不思議な光景でした。

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第46号をお届けします。

業務に Tea Break にどうぞご活用ください。

■□■□トピックス□■□■

★インフォメーション

・6月に東京と大阪で『地震・津波対策』をテーマに新技術セミナーを開催します！

★機構の動き

・今週は、5月24日(木)開催の平成24年度下水道研究会議勉強会へ研究第一部の土手研究  
員が参加し、「下水道施設の効率的な津波対策に関する研究」について発表を行います

★Tea Break

・好きな散歩道 (下水道機構 ゆいまーるさんからの投稿です)

★みなさまからのコラム

・今回は、石川県かほく市様より「包括的民間委託受託者の募集について」情報をいた  
だいています

★国からの情報

・5月18日付け下水道ホットインフォメーション

-----  
インフォメーション (最新の話です)  
-----

●6月に東京と大阪で『地震・津波対策』をテーマに新技術セミナーを開催します！

下水道機構では、6月1日(金)(大阪会場；大阪科学技術センター)と8日(金)  
(東京会場；発明会館)の13:00~16:45に下水道新技術セミナーを開催します。

今回のテーマは、「下水道における地震・津波対策」。東日本大震災から1年がた  
ち、これまで進められてきたソフトからハードにわたる各種対策等の最新情報につ  
いてセミナーを開催します。

内容は、明治大学大学院特任教授の中林一樹氏から「地域防災計画からBCPへの展  
開」と題した基調講演、国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部長の堀江信  
之氏から「下水道事業における地震・津波への備え」と題した特別講演をいただくと  
ともに、宮城県土木部下水道課からは復旧の取り組み、(株)東芝の東北復興推進室  
からは下水道設備における対応、当機構からはこのテーマに関する今後の課題も含め

た取り組みについてご紹介いたします。本セミナーは、土木学会の継続教育（CPD）プログラムにも認定されていますので、皆様方多数のご参加をお待ちしております。  
なお、参加費は無料です（ただし、テキストが必要な場合は、当日テキスト代1,000円をご負担ください。その旨はWEB申し込み時にお知らせください。）。

→ [http://www.jiwet.jp/school/school-02\\_056.htm](http://www.jiwet.jp/school/school-02_056.htm)

---

機構の動き （機構の行事予定です）

---

●第56回 下水道新技術セミナー(テーマ：下水道における地震・津波対策)

【大阪会場】6月1日(金)13:00～16:45（場所:大阪科学技術センター）

【東京会場】6月8日(金)13:00～16:45（場所:発明会館）

※参加お申し込みはコチラ→ [http://www.jiwet.jp/school/school-02\\_056.htm](http://www.jiwet.jp/school/school-02_056.htm)

★平成24年度下水道研究会議勉強会

5月24日(木)13:00～17:15（横須賀市役所正庁）

※当機構研究第一部の土手研究員が参加し、「下水道施設の効率的な津波対策に関する研究」について発表を行います

---

Tea Break （機構職員の感じるまま）

---

●好きな散歩道 （下水道機構 ゆいまーるさんからの投稿です）

1年に数回訪れる水上の散歩道があります。季節の移り変わりを感じたり、生き物たちを間近で見ることができる好きな道で、行ってきました。

先のゴールデンウィーク最後の日は北関東を強烈な竜巻が襲い、大きな被害をもたらしました。昨年の大震災からの復旧中に再度、見舞われた家もあったとのことで、一刻も早い復興をお祈りいたします。

この日天気予報では、神奈川県でも突風と雷と突然の大雨に注意するよう呼びかけていました。天気は良さそうだったので午前の早い時間にマイカヤックを担いで相鉄線「星川駅」で降り、すぐ近くにある川辺公園で組立て少し風が出てきた中、二級河川「帷子(かたびら)川(がわ)」を漕ぎ出しました。兩岸の桜は新緑で輝いており、甲羅干しの亀、こちらに注意を向ける鴨の親子、海鷗を見ながら下り横浜駅西口五番街を経て、JR・京浜急行線の線路を潜って、横浜駅東口のベイクォーターを過ぎて横浜港へ入りました。風は次第に強まり、迎え風に苦勞するようになりました。波立ち始めた中、臨港パーク沿いを横浜国際会議場、ランドマークタワーを前方にして進むと波はうねりを交えてさらに大きくなって来ました。すれ違うシーバスの乗船客からの励ましの声に手を振って答えることもできず、転覆の恐怖感じながら痺れてきた腕で懸命に漕ぎ続けました。揉みくちやにされながら、何とか乗り切りコスモクロック、日本丸の横を通過してJR桜木町駅近くの大岡川へと入りました。最後の休日を楽しむ大勢の人が行きかう光景を見ながら、昼前たくさんの鯉のぼりが泳ぐ川の駅「桜棧橋」に着き、スリルに満ちた小旅行を終えました。穏やかな日にこの距離およそ7km、2時間のコースを楽しむことは私にとって至福の時となるのですが、この日は特別な思い出となりました。なお、この後、横浜地方は大きな天気崩れは起きませんでした。



調査設計業務に携わっておりました。はじめての下水道行政でわからないことばかりですが、日本の水ビジネス分野の国際展開をさらに活性化させたいと考えておりますので、何卒ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

4月から下水道事業課事業係長に着任しました安藤です。3月までは、関東地方整備局港湾空港部において、特定離島(沖ノ島・南島)港湾施設の整備に係る業務に携わっておりました。下水道部の勤務は初めてとなり、至らぬ点多いかと思いますが、関係者の皆様のお力もお借りしつつ、日々の業務に精一杯励んで参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○下水道セーフティネット (NO.132)、事務連絡「下水道工事の安全対策の徹底について」を送付しました【下水道事業課】

●下水道の歴史銘板の設置及び名古屋市下水道の昔の写真募集について【名古屋市】

=====

○下水道セーフティネット (NO.132)、事務連絡「下水道工事の安全対策の徹底について」を送付しました【下水道事業課】

下水道工事事故についてとりまとめ、工事現場での安全教育や工事事故を未然に防止するための啓発活動等にご活用いただくため、毎月、「下水道セーフティネットを自治体等に向け送付しています。その5月号を5/14に送付しました。

先月も残念ながら死亡事故が1件発生し、昨年10月から7か月連続で死亡事故が続いている状況にあります。また、死亡事故に至らないまでも、これまでに度々注意喚起をしてきたような同種の事故が繰り返し発生しており、極めて憂慮すべき事態にあります。このことから、同日付で事務連絡「下水道工事の安全対策の徹底について」を送付しました。

各下水道管理者におかれましては、改めて安全教育の実施、施工管理体制・施工計画等の確認及び安全点検の実施を十分に行うなど、一層の安全対策の徹底により、現場の事故の未然防止に努めていただきますようお願いいたします。

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd\\_sewerage\\_tk\\_000005.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000005.html)

●下水道の歴史銘板の設置及び名古屋市下水道の昔の写真募集について【名古屋市】

大正元年に供用を開始した名古屋市下水道は、今年で100年を迎えます。名古屋市上下水道局は、名古屋の下水道の歴史を市民の皆様に広く知っていただくため、下水道の創設工事の写真(大正2年広小路通下水管布設工事風景)を銘板にし、当時の工事現場近くである中区役所(名古屋市中区栄四丁目1-8)に設置しました。この銘板は、幅52センチメートル×横73センチメートル。中区役所敷地の北側植栽帯にありますので、お近くを通りかかった際は、ぜひご覧ください。

この銘板の除幕式の様子は下記でご覧いただけます。

<http://www.water.city.nagoya.jp/100shunen/report/24/index.html#j01>

また、現在、名古屋の下水道の昔の写真を募集しています。この「下水道ホットインフォメーション」をご覧の皆様で、下水道の施設、工事風景、作業風景など名古屋の下水道の昔の写真をお持ちで、提供又は貸与していただける方がいらっしゃいます。

たら、是非下記までお知らせください（受付期間：平成24年10月31日まで）。

名古屋市上下水道局経営企画課（電話 052-972-3719）

=====

【参考情報】

◆放射性廃棄物の処理 「市村ごと」に反発 群馬 <5/10 朝日新聞>

[http://mytown.asahi.com/gunma/news.php?k\\_id=10000001205100002](http://mytown.asahi.com/gunma/news.php?k_id=10000001205100002)

◆多様な下水工事に対応 <5/10 河北新報社>

[http://www.kahoku.co.jp/spe/spe\\_sys1102/20120510\\_01.htm](http://www.kahoku.co.jp/spe/spe_sys1102/20120510_01.htm)

◆震災の液状化被害 久喜に対策委発足 <5/11 朝日新聞>

[http://mytown.asahi.com/saitama/news.php?k\\_id=11000001205110003](http://mytown.asahi.com/saitama/news.php?k_id=11000001205110003)

◆雨水タンク「守口さかさかさ」が寄贈 <5/12 朝日新聞>

[http://mytown.asahi.com/osaka/news.php?k\\_id=28000001205120002](http://mytown.asahi.com/osaka/news.php?k_id=28000001205120002)

◆千葉市・検見川浜で液状化対策採用のマンション <5/14 朝日新聞>

<http://www.asahi.com/housing/jutaku-s/JSN201205140002.html>

◆地下街から避難せよ <5/17 読売新聞>

[http://www.yomiuri.co.jp/osaka/feature/kansai1337012938965\\_02/news/20120517-OYT8T00152.htm?from=yoltop](http://www.yomiuri.co.jp/osaka/feature/kansai1337012938965_02/news/20120517-OYT8T00152.htm?from=yoltop)

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○ニューズレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/seikai2.pdf>

